

ディスクロージャーニュース

RYOUBI SHINYO KUMIAI

地域みなさまとともに

70th
Anniversary

おかげさまで、リョーシンは**創立70周年**を迎えることができました

ごあいさつ

平素より、皆さまには両備信用組合をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。また近年、国内・国外におきまして、マネーロンダリング（資金洗浄）対策の重要性が高まっており、日頃より、お客さまには本人確認作業等のご協力をいただき重ねて感謝申し上げます。

さて、当組合に対するご理解を一層深めていただくため、「ディスクロージャーニュース 2023.9地域のみなさまとともに」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

昨今、新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、経済活動も活発化しつつありますが、中東の不安定な状況やウクライナ情勢、中国の景気減退、円安、原材料価格の高騰等も加わり、お客さまの事業・生活等、地域経済に多大な影響が懸念されています。こうした中、当組合は、お客さまの状況に応じた対応・支援等、日々、地域経済の維持・活性化を積極的に取組んでおります。また、地域に信頼され必要とされる「お客さま支援機関」として職員一丸となって邁進しておりますので、今後とも格別のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年11月

理事長 **原田雅文**

経営理念

1. 組合は、豊かな暮らしづくりに奉仕し、地元住民と共存共栄する。
1. 役職員は、郷土発展のために働き、その使命に自信と誇りを持つ。
1. 経営は、健全経営で組合員の付託にこたえ、職員に働き甲斐を与える。

目次

ごあいさつ	1
業績ハイライト	
預金の推移・貸出金の推移	1
当期純利益の推移・不良債権比率の推移・自己資本比率の推移	2
有価証券含み損益・協金法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権の保全・引当状況	3
主要な経営指標の推移	4
トピックス	5
営業地区・店舗一覧・ATMのご案内	6

両備信用組合の概要

設立：昭和27年4月
店舗数：14店舗
出資金：1,547百万円
常勤役職員数：133名
組合員数：23,183名

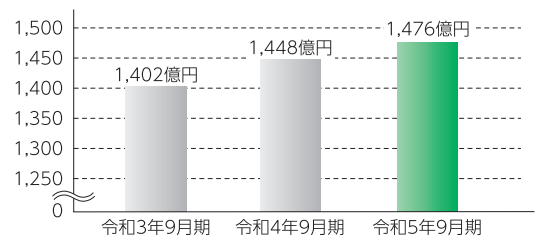
令和5年9月30日現在

業績ハイライト

預金の推移

預金残高は、前年同月比28億円増加しました。

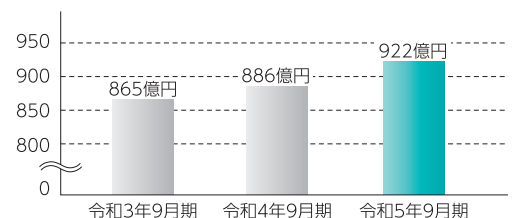
預金は、創立70周年記念定期キャンペーンに加え、年金受取金額等の増加により、前年同月比28億円増加し残高は1,476億円となりました。



貸出金の推移

貸出金残高は、前年同月比36億円の増加となりました。

貸出金は、事業資金の推進及び地方公共団体融資の取組により、前年同月比36億円増加し、残高は922億円となりました。

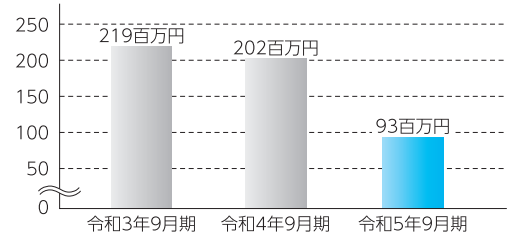


業績ハイライト

当期純利益の推移

事業計画の利益を確保しております。

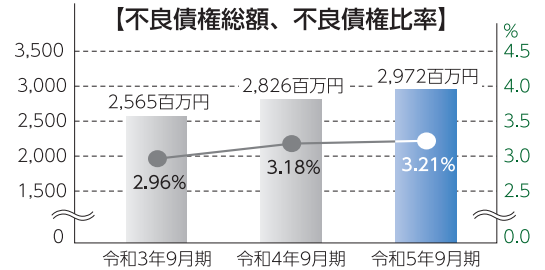
当期純利益は、貸出金平均残高の増加により、貸出金利息が前期比14百万円増加するも、前年同月に比べ貸倒引当金戻入の減少もあり、前年同月期より109百万円減少の93百万円となりました。



不良債権比率の推移

不良債権比率は3.21%と資産の健全性を確保しております。

金融再生法開示債権額のうち不良債権額は、前年同月より146百万円増加し、2,972百万円となりましたが、不良債権比率は3.21%で引き続き低位で推移しています。



自己資本比率の推移

自己資本比率は11.24%となり、リスクに対し高い自己資本額を保持しております。

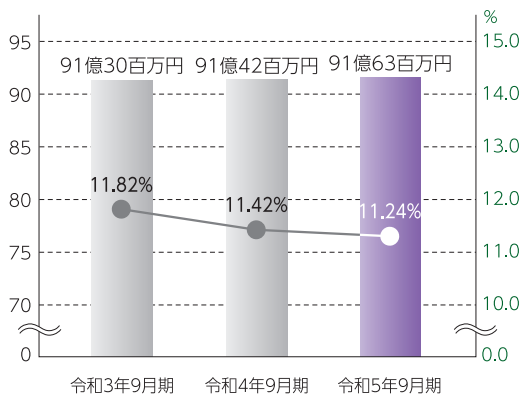
自己資本額は、前年比21百万円増加の9,163百万円となりましたが、一方、リスクアセットは貸出金残高の増加により、1,503百万円増加の81,523百万円となり、自己資本比率は、前年比0.18%低下の11.24%となりました。なお、金融機関の健全性の指標である自己資本比率は、最低所要自己資本比率4%基準を大きく上回り、金融機関としての経営の健全性は十分に確保しております。

自己資本の構成に関する事項

(単位：百万円)

項目	令和4年9月期	経過措置による不算入額	令和5年9月期	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員約定又は会員約定の額	9,056		9,094	
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,532		1,547	
うち、利益剰余金の額	7,523		7,546	
うち、外部流出予定額(△)	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	107		81	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	107		81	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	9,164		9,176	
コア資本に係る基礎項目 (2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	22	-	13	-
うち、のれんおよびモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	22	-	13	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	22		13	
自己資本				
自己資本の額 (イ)-(ロ)	(ハ) 9,142		9,163	
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	76,696		78,267	
資産(オン・バランス項目)	76,693		78,265	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 903		△ 902	
うち、無形固定資産(のれんおよびモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)				
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 903		△ 902	
オフ・バランス等取引項目	2		2	
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	0		0	
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	3,324		3,255	
リスク・アセット額の合計額 (ニ)	80,020		81,523	
自己資本比率				
自己資本比率 (ハ)÷(ニ)	11.42%		11.24%	

【自己資本額、自己資本比率】



(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第六条第一項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第22号)」に係る算式に基づき算出しております。なお、当組合は国内基準により自己資本比率を算出しております。

業績ハイライト

有価証券含み損益

(単位：百万円)

区 分	令和4年9月期			令和5年9月期			
	取得原価 (償却原価を含む)	時価相当額	評価損益	取得原価 (償却原価を含む)	時価相当額	評価損益	
株 式	その他有価証券	103	103	0	103	103	0
債 券	満期保有目的	99	103	3	250	246	▲3
	その他有価証券	40,148	39,908	▲239	40,139	39,786	▲352
そ の 他	その他有価証券	0	0	0	0	0	0
合 計	満期保有目的	99	103	3	250	246	▲3
	その他有価証券	40,251	40,011	▲239	40,242	39,890	▲352

※有価証券は、流動性・健全性の高いものを中心に適正な運用に努めております。

協金法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分	年 度	残 高 A	担保・保証額 B	貸倒引当金 C	保全率 (B+C)/A	引当率 C/(A-B)
破産更生債権及びこれらに 準ずる債権	令和5年9月期	541	238	303	100.00%	100.00%
	令和4年9月期	299	169	129	100.00%	100.00%
危 険 債 権	令和5年9月期	2,006	981	522	74.97%	51.00%
	令和4年9月期	2,150	969	610	73.50%	51.73%
要 管 理 債 権	令和5年9月期	423	163	30	45.77%	11.88%
	令和4年9月期	376	141	24	44.20%	10.51%
三月以上延滞債権	令和5年9月期	0	0	0	0.00%	0.00%
	令和4年9月期	0	0	0	0.00%	0.00%
貸出条件緩和債権	令和5年9月期	423	163	30	45.77%	11.88%
	令和4年9月期	376	141	24	44.20%	10.51%
小 計	令和5年9月期	2,972	1,383	857	75.37%	53.93%
	令和4年9月期	2,826	1,280	765	72.40%	49.53%
正 常 債 権	令和5年9月期	89,349				
	令和4年9月期	85,837				
合 計	令和5年9月期	92,321				
	令和4年9月期	88,664				

- (注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権(1に掲げるものを除く。)です。
- 3.「要管理債権」とは、「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金です。
- 4.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金(1及び2に掲げるものを除く。)です。
- 5.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金(1、2及び4に掲げるものを除く。)です。
- 6.「正常債権」とは、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権(1、2及び3に掲げるものを除く。)です。
- 7.「担保・保証額」は自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 8.「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
- 9.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)です。
- 10.金額は決算後(償却後)の計数です。

業績ハイライト

主要な経営指標の推移

(単位：百万円)

区 分	令和4年9月期	令和5年9月期
経 常 収 益	1,001	916
業 務 純 益	194	136
コ ア 業 務 純 益	194	159
経 常 利 益	275	133
当 期 (中 間) 純 利 益	202	93
預 金 積 金 残 高	144,809	147,635
貸 出 金 残 高	88,625	92,260
有 価 証 券 残 高	40,111	40,140
総 資 産 額	174,190	161,362
純 資 産 額	8,883	8,840
自 己 資 本 比 率	11.42%	11.24%
出 資 金	1,532	1,547
組 合 員 数	23,267名	23,183名
常 勤 役 職 員 数	129名	133名

【貸借対照表】

(単位：百万円)

科 目	資 産 の 部		科 目	負 債 及 び 純 資 産 の 部	
	令和4年9月期	令和5年9月期		令和4年9月期	令和5年9月期
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
現 金	2,279	2,037	預 金 積 金	144,809	147,635
預 け 金	42,150	25,805	借 用 金	20,000	4,400
有 価 証 券	40,111	40,140	そ の 他 負 債	367	352
貸 出 金	88,625	92,260	賞 与 引 当 金	70	73
そ の 他 資 産	828	1,035	退 職 給 付 引 当 金	0	0
有 形 固 定 資 産	834	742	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	17	19
無 形 固 定 資 産	31	18	そ の 他 の 引 当 金	38	37
前 払 年 金 費 用	33	61	債 務 保 証	3	2
繰 延 税 金 資 産	139	166	負 債 の 部 合 計	165,306	152,522
債 務 保 証 見 返	3	2	(純 資 産 の 部)		
貸 倒 引 当 金	▲ 848	▲ 908	出 資 金	1,532	1,547
(うち個別貸倒引当金)	(▲ 740)	(▲ 826)	利 益 剰 余 金	7,523	7,546
			組 合 員 勘 定 合 計	9,056	9,094
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	▲ 172	▲ 253
資 産 の 部 合 計	174,190	161,362	純 資 産 の 部 合 計	8,883	8,840
			負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	174,190	161,362

【損益計算書】

(単位：百万円)

科 目	令和4年9月期	令和5年9月期	科 目	令和4年9月期	令和5年9月期
経 常 収 益	1,001	916	経 常 利 益	275	133
資 金 運 用 収 益	846	844	特 別 利 益	0	—
(うち貸出金利息)	(694)	(709)	特 別 損 失	0	0
役 務 取 引 等 収 益	62	60	税 引 前 当 期 (中 間) 純 利 益	275	133
そ の 他 業 務 収 益	5	8	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	61	32
そ の 他 経 常 収 益	88	2	法 人 税 等 調 整 額	10	8
経 常 費 用	726	783	当 期 (中 間) 純 利 益	202	93
資 金 調 達 費 用	35	37			
(うち預金利息)	(35)	(37)			
役 務 取 引 等 費 用	119	113			
そ の 他 業 務 費 用	0	0			
経 費	566	606			
そ の 他 経 常 費 用	4	26			

トピックス

① 備後国府まつりに出場いたしました



備後国府まつりが令和5年7月22日（土）に開催されました。原田理事長をはじめ当組合の役職員38名が参加しました。おどり・カーニバル部門に出場し、「びんご府中音頭」と「博多どんたく」を披露しました。おどりの際にはたくさんの方に応援していただき、また移動中や待ち時間には当組合のお客さまに声を掛けていただきました。

② 「第12回 府中リレーマラソンIN羽高湖」への参加



令和5年9月24日（日）に第12回 府中リレーマラソンIN羽高湖が開催されました。この大会は2時間耐久のリレーマラソンで、羽高湖1周1.3kmのコースを1周ごとにタスキで繋ぎ周回数を競うものです。当組合のチームは20週を完走し21チーム中12位の好成績となりました。

③ 三原市と「三原市における地域見守り活動に関する協定」を締結



令和5年9月26日（火）、当組合は三原市と「三原市における地域見守り活動に関する協定」を締結いたしました。この協定は、高齢者、障害者、子供等市民の誰もが住みなれた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができる地域社会を目指し、三原市及び当組合が連携し、見守り活動を行うことにより地域福祉の向上に寄与することを目的としております。すでに府中市と世羅町、神石高原町、三次市と協定を結んでおり、過去には倒れていた老人を発見して通報したり、迷子を保護したりしております。

④ キャリア体験学習が行われました



府中市内の中学生を対象にした「キャリア体験学習」が8月29日（火）から9月1日（金）まで4日間行われました。本店では府中学園の生徒3名を、上下支店では上下中学校の生徒1名を受入れました。本部ではビジネスマナーの講習や札勘、本店営業部での窓口見学などを行いました。8月30日（水）には当組合の4階に府中警察署と市内の金融機関で体験学習を行っている中学生12名が集まり、特殊詐欺被害防止啓発チラシを制作しました。

⑤ 当組合の職員が所属する府中市女子サッカーチーム「スフィーダ備後府中FC」が、中国女子サッカーリーグの最終戦で「周南公立大学Vinculum」に勝利



令和5年10月15日（日）午前11時30分キックオフ、上下運動公園人工芝第2グラウンド（スフィーダ備後府中FCホームグラウンド）にて、当組合の職員が所属する「スフィーダ備後府中FC」が中国女子サッカーリーグの最終戦で「周南公立大学Vinculum」に勝利しました。

「スフィーダ備後府中FC」は、2021年（一社）備後府中スポーツクラブが設立された後、府中市及び、NPO法人スフィーダ（スフィーダ世田谷FC）との3者連携協定が結ばれ、備後府中TAM-Sを母体に再編成された女子サッカーチームで、選手・スタッフが一丸となり、「なでしこリーグ昇格」に向け奮闘中です。



印刷は植物油インキを
使用しております。



〒726-0003 広島県府中市元町462番地の10

TEL (0847) 45-2228

FAX (0847) 45-2784

<https://www.ryobishinkumi.co.jp>